

セントリスE-1 : G2TAM(ジーツータム)

# 抗菌・MIC・安全性 試験一覧表

平成24年 4月 1日

**Communications Allegro**

株式会社コミュニケーションズ アレグロ

## 《G2TAM(セントリスE-1)》シリーズ抗菌力試験結果

2011年4月1日

菌名	試験開始時(cfu/ml) 又は対照	経過時間	結果	試験機関
ネコカリシウイルス(Feline calicivirus vaccine strain)※ノロウイルス代替	log TCID <sub>50</sub> /ml 7.0	5分後	<3.5 (検出せず)	(財)日本食品分析センター
SARSウイルス(BJ-01株)	5×10 <sup>6</sup> TCID <sub>50</sub>	5分後	検出せず	中国人民解放軍軍事医学科学院微生物流行病研究所
セレウス芽胞(Bacillus cereus)	1.0×10 <sup>8</sup> spore/ml	1分後	※検出せず	三井農林㈱
枯草菌(Bacillus subtilis RIM0225014 ATCC9372)	4.2×10 <sup>8</sup>	10分後	検出せず	(財)島根県環境保健公社
高病原性鳥インフルエンザウイルス(A/whistling swan/Shimane/499/83/(H5N3)株)	EID <sub>50</sub> /0.1ml10 <sup>7.4</sup>	10分後	<1.5 (検出せず)	鳥取大学農学部附属鳥山由來人獣共通感染症疫学研究センター
インフルエンザウイルス(flu/A/human/Wisconsin/15/30(H1N1)株)	4.92E+04CFU/ml	《G2TAM α-プラス》 配布後7日経過の布巾	0.00E+00 (検出せず)	中部大学生命健康科学部生命医科学科
牛ライノウイルス2型(bovine rhinovirus)※口蹄疫ウイルス代替	logの指数差 (抗ウイルス評価基準 2.00log <sub>10</sub> )	60分	≧2.75	酪農学園大学獣医学部
腸管出血性大腸菌O-157(Escherichia coli O-157H-7(IID959))	1.8×10 <sup>6</sup>	5分後	検出せず	(社)愛知県薬剤師会
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(Methicillin Resistant Staphylococcus IID1677(MRSA))	1.1×10 <sup>6</sup>	5分後	検出せず	(社)愛知県薬剤師会
大腸菌(Escherichia coli IFO3972)	2.6×10 <sup>6</sup>	5分後	検出せず	(財)日本食品分析センター
緑膿菌(Pseudomonas aeruginosa IFO13257)	1.0×10 <sup>8</sup>	5分後	検出せず	(財)日本食品分析センター
白癬菌(Trichophyton mentagrophytes IFO6202)	2.8×10 <sup>2</sup>	5分後	検出せず	(財)日本食品分析センター
レジオネラ菌(Legionella pneumophila)	8.3×10 <sup>5</sup>	5分後	検出せず	(財)日本食品分析センター
サルモネラ菌(Salmonella enteritidis IFO3313)	1.0×10 <sup>6</sup>	1分後	検出せず	(財)日本食品分析センター
カンジダ菌(Candida albicans, ATCC 10231)	2.0×10 <sup>6</sup>	5分後	検出せず	(社)愛知県薬剤師会
アシネトバクター・バウマニ(Acinetobacter baumannii)	1.4×10 <sup>6</sup>	1分後	検出せず	(財)日本食品分析センター
カビ(5菌株) JIS Z2911(1992)	発育面積が 全体の1/3を超える	28日後	発育が 認められない	(財)日本食品分析センター

※赤字は《G2TAM α PLUS》を使用した試験結果です。

## 《G2TAM(セントリスE-1)》MIC(最少発育阻止濃度)試験結果

2010年4月1日

菌名	最少発育阻止濃度 ( $\mu\text{g/ml}$ )	希釈倍率	試験機関
大腸菌( <i>Escherichia coli</i> IFO 3972)	400	1 : 2, 500	(財)日本食品分析センター
黄色ブドウ球菌 ( <i>Staphylococcus aureus</i> IFO 12732)	12. 5	1 : 80, 000	(財)日本食品分析センター
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 「京都微生物研究所分離株」	50	1 : 20, 000	(財)日本食品分析センター
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 「実験室保存株 NS455」	50	1 : 20, 000	(財)日本食品分析センター
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA) 「実験室保存株 NS462」	25	1 : 40, 000	(財)日本食品分析センター
肺炎桿菌 ( <i>Klebsiella pneumoniae</i> IFO 13277)	25	1 : 40, 000	(財)日本食品分析センター
大腸菌O157(H788-2364)	156	1 : 6, 400	中国福建省疾病予防控制中心細菌性疾患予防治療科
サルモネラ菌 ( <i>Salmonella typhimurium</i> )	156	1 : 6, 400	中国福建省疾病予防控制中心細菌性疾患予防治療科
マイクロコッカスルテウス ( <i>Micrococcus luteus</i> )	19. 5	1 : 51, 200	中国福建省疾病予防控制中心細菌性疾患予防治療科
バチルスセレウス菌 ( <i>Bacillus cereus</i> )	78	1 : 12, 800	中国福建省疾病予防控制中心細菌性疾患予防治療科
緑膿菌(ATCC27853)	625	1 : 1, 600	中国福建省疾病予防控制中心細菌性疾患予防治療科
枯草菌( <i>Bacillus subtilis</i> )	625	1 : 1, 600	中国福建省疾病予防控制中心細菌性疾患予防治療科
カンジダ菌 ( <i>Candida albicans</i> , ATCC 10231)	156	1 : 6, 400	中国福建省疾病予防控制中心細菌性疾患予防治療科
リステア菌	156	1 : 6, 400	中国福建省疾病予防控制中心細菌性疾患予防治療科

※MIC(最少発育阻止濃度)試験は、《G2TAM(セントリスE-1)》製造原溶液(飽和液)を使用して実施しています。

## 《G2TAM(セントリスE-1)》安全性試験結果

2010年4月1日

試験名	試験結果	例	試験機関
急性経口毒性試験 (LD <sub>50</sub> 値)	6,000mg/kg以上	なめても安全	(財)日本食品分析センター
皮膚一次刺激性試験	皮膚に対する刺激は認められない	皮膚についても刺激がない	(財)日本食品分析センター
皮膚感作性試験	皮膚感作性を有しない	アレルギー反応を起こさない	(財)日本食品分析センター
変異原性試験(4菌株)	陰性	突然変異を起こさない	(財)日本食品分析センター
吸入急性毒性試験	呼吸器への異常は認められない	吸い込んでも異常は発生しない	※群馬大学医学部保健学科
食品添加物等の規格基準 第五、洗浄剤の試験法	適合する	ヒ素や重金属を含まない	(社)愛知県薬剤師会
器具容器包装規格基準試験 食品、添加物等の規格基準 器具及び包装容器の規格による試験法	適合する	カドミウム、鉛、重金属を含まない 過酸化マンガン酸カリウム消費量適合	(社)愛知県薬剤師会
魚毒性試験 (ヒメダカ/96時間)LC <sub>50</sub> 値	50ppm	自然水域に流しても水質汚染や魚などの生態系に影響を与えない	日華化学(株)

※出典「医療保険技術分野での超微細霧と認証製剤を組み合わせた除菌・消臭技術の開発」群馬大学医学部保健学科  
 ※安全性試験は、《G2TAM(セントリスE-1)》製造原溶液(飽和液)を使用して実施しています。